



エコネット町田 通信

ECONET Machida Newsletter

地球にやさしい環境づくり 都民フォーラムの報告

テーマ：地球温暖化ストップ いま地域、家庭できること！

12月5日、当会が加入している東京のあすを創る協会主催のフォーラムが新宿の都民ホールで行われました。温室効果ガス増大による、世界的な気候変動で日本でもゲリラ豪雨の被害が発生しているが、これらの対策の取り組みを第一線で活躍している方々をパネリストに迎え一緒に考えようとするものでした。

コーディネーターはNHK解説委員で日本科学技術ジャーナリスト会議の副会長の室山哲也さん、パネリストは国立環境研究所で気象変動リスク評価研究室長の江守正多さん、気象庁の地球温暖化対策調査官の藤本敏文さん、東京都地球温暖化防止活動推進センター顧問の山川文子さんら。

室山さんはNHKの科学番組プロデューサーの第一人者で温暖化問題も造詣が深く、今回のフォーラムの進行の意気込んでおりました。

江守さんは京都議定書から20年なるのに脱炭素で日本は遅れを取っている現状をもとに、地球温暖化は海面常勝・洪水・熱波・食料不足・陸海の生態系が損失などのリスクが拡大中と説明。

このため排出削減策が急務とし、そのメニューは、①省エネ ②再生可能エネルギー ③原子力④火力発電の高効率化 ⑤燃料利用の電化・水素化などを提示。仕事の立場上、

マクロの観点からの対応策が中心の説明でした。

気象庁の藤本さんは気候変動の今と将来の観点から、まず今までの世界・日本・東京での詳細変化推移（年平均気温、年降水量、熱帯夜日数、猛暑日）を解説。IPCC5次評価報告書のシナリオで見ると、東京での20世紀末の将来気温は、①年平均で4.2度上昇、特に冬季の上昇が大きい、②猛暑日は30日程度増加 ③真夏日・熱帯夜日数も60日ほど増加し、熱中症リスクがますます増大していくと予想。

雨では、短時間強雨が今より2倍以上発生する可能性が大きく、大雨による自然災害リスクが増大すると警告、雨の降らない日の頻度は冬季を除き、増加するため水不足のリスクも増大するとコメント。

特に洪水警報を改善するべく流域雨量指数を精緻化し、危険度に応じて市町村での危険が高まる場所の情報提供を図ること注力するとの決意を示したのが印象的でした。

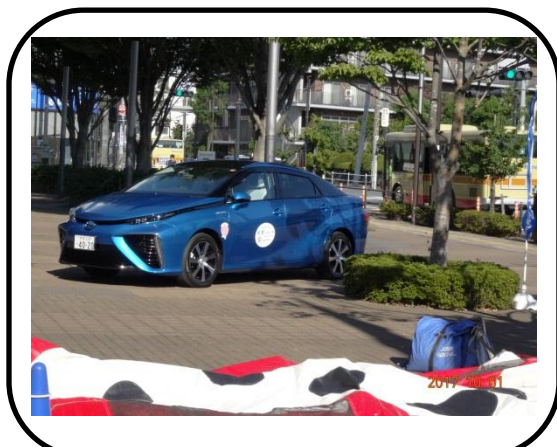
山川さんは永年、家庭向けの省エネの広報活動を続けているだけに、高齢化と高度化するネット社会での対応策がポイントで、東京都が省エネムーブメント促進事業の白熱球とLED電球の交換をしてくださいと述べていました。（瀬川記）

第26回町田エコフェスタ2017



10月1日(日) 市庁舎での初開催、来年に繋ぐ盛況!

今年のエコフェスタは、従来の開催地小山田のリサイクルセンターが新施設建設のため、市庁舎に移しての開催でした。これまで野外出展が殆んどだったのに比べ、市庁舎では一部の出展以外は屋内のため、雨の心配はありませんでしたが、当日の空は快晴、絶好のフェスタ日和となりました。そして無事終了でき、来場者は約8,000人となりました。実行委員、出展者にとっては無事終了できたことは勿論、これまで同様の来場者を得たことは大きな自信となりました。多くの方々のお陰で、エコフェスタが来年、さらに新センター完成の2021年へと繋がるものとなりました。



エコネット町田の出展も大人気

これまでフェスタの出展者として頑張ってきたエコネット町田は今回も、「真光寺川を清流にする会」の皆さんの協力を得て、真光寺川、恩田川など町田に棲む魚の水槽を展示しました。準備段階の6、7月には庁舎内での設置ができるか心配でしたが、幸い消防署の許可も降り、当日は来場者、特に小学生の人气が集まりました。また、広く人気があるスタンプラリーにも

参加、エコ町田は「町田の一級河川は」多摩川？ 鶴見川？ 相模川？ を出題しました（会員の皆さん解りますか）。

やはり水槽での生きた魚の展示は迫力がありました。採集、飼育、運搬を担ってくれた「真光寺川を清流にする会」会員でもある山口拓郎、山本隆治、志田徳雄さん各位ありがとうございました。



エコフェスタ、次も楽しく、更なるエコへ

エコフェスタが終わり、また毎日のエコ、資源の分別、空き缶・ビンを洗って出すなどが始まります。しかし一部では資源を分別しないで出したり、川へのポイ捨て等は無くなりません。ご家庭の皆さんは、分別の努力をしても良い事無いと嫌になるかもしれません。でも今、町田市、東京都では、更なるゴミ減量のプロジェクトが始まっています。

そしてこれに合わせて大企業もビン・缶に加え、ペットボトル、プラスチック、ビニールの再生事業を立ち上げてくれています。（参考「エコプロ2017」12月7日、8日、9日東京ビッグサイトにて開催）

もう一つ、私自身、先日のボランティア団体の集まりで、私が「私のエコは勿体ないです。古臭いですよ」とつぶやいたら、「何を言うんですか、勿体ないこそエコの原点ですよ」と励ましてくれました。嬉しかったです。エコを続ける力をもらいました。エコを続ける皆さん、これからも頑張りましょう。そして楽しくやりましょう。小さな努力でも、大勢が集まれば大きな良い事ができます。

最後に、「エコ町田」会員の皆さん、是非、毎月第4日曜日午後2時からの「推進・連絡会議」（市民フォーラム4階）にお出で下さい。帰りに一杯もありますよ。

エコフェスタ実行委員・エコネット町田会員 杉山 誠

今年の恩田川でのフィールドワークの報告

今年も恒例になっている恩田川の近隣の小学校児童向け河川でのフィールドワークを行いました。高ヶ坂小学校は9月22日の予定日に5年生の2クラス全員に実施。一方、南成瀬小学校も5年生対象に10月に実施予定でしたが、10月は雨天が続き予備日も中止で、22日に再延期しましたが、当日も雨天のため学校側と協議し、室内授業に切り替えて実施しました。今年は野外での学習だけに降雨に悩まされました。以下簡単に報告いたします。

①高ヶ坂小学校

今回は昨年続く4回目で、9月22日は好天で、予定通り実施できました。当日は父兄への公開授業でしたがゼルビア若手選手によるサッカー教室も同時に行われおり、父兄の皆さんはサッカー教室に興味があったようです。

児童数は各組とも30名強、場所は学校から徒歩3分くらいの高瀬橋の親水広場。当方は5名と学校側から担任の先生とボランティアコーディネーターの3名で対応。

出発に先立ち学校で恩田川の歴史、フィールドワークのポイントや注意点などを説明。そのあと全員で現地に移動。

最初の20分間は4人グループでの2つの水質調査。川の水には様々な有機物が混ざっており、これを浄化するには水中の酸素が必要で、この酸素量を見るための薬剤テスト(COD検査)を行いました。



次に透視度計で川の水のきれいさも測定。当日採集した川の水と近くの弁天池の水との比較もしてみました。児童が思っていたより恩田川の水は綺麗なことがわかり皆驚いてい

ました。

そのあとは網での魚とりや、石の下にいる生き物調べなどに歓声をあげていました。最後はクラス別に採取した魚、生物の確認を行いました。最後はパネルを使い、恩田川に見られる魚やカワセミなどの説明もしました。児童の皆さんは満足そうな様子で学校に向かって行きました。

②南成瀬小学校

今回で連続6回目の体験学習でしたが雨で予定日が度々流れたため、初めて室内での授業に切り替えました。10月22日に実施。5年生1組は3時限、2組は4時限でクラス毎に行いました。当方は3名で学校側は担任とボランティアコーディネーターも加わり5名で対応。

事前打ち合わせで、担任の先生にCODと透視計を持ち込み使用方法など具体的に説明し、児童には事前に学習内容を説明することお願いしました。

テキストは当会が作成した「河川のフィールドワークの葉」を全員に配り、これをもとに進めていきました。

水質調査から始め、4人ごとに透視度調べとCODのパックテストの二つの水質調査を行い、最初に透視度を調べました。

降雨が続いていたので恩田川の水は多少濁

りがあるようでしたので、水道の水との比較をしました。川の透視度は60～70cm、水道水は1mでした。CODによる調査では試薬を入れた川の水がピンク色に変わり比較的綺麗なきれいな値が示されました。

思いのほかの結果に児童達はびっくりしていました。

後半は持参したパネルを使い、エコネット町田の活動の状況の話、恩田川に棲むアブラハヤ、オイカワ、ヨシノボリなどを示し、これらの魚は上流域のきれいな水に棲む魚たちであると説明。町田の鳥のカワセミについてもパネル写真で話をしました。

川がきれいになると、魚も棲むようになり、その魚を餌とするカワセミも増える。身近な

事例で環境の大切さを伝えました。皆さんの協力もあり無事終了。

③高ヶ坂小学校の創立40周年式典に参加

当校は金森、高ヶ坂地区に分散していた学校を40年前に統合して出来た小学校とのことで、12月1日（金）創立記念式典が行われました。

市長や教育委員長、歴代校長などの多くの関係者やPTAの皆さんも招待されました。本校と関係のあるボランティアの方々にも声がかかり参加していました。

懇親会も用意されていたので、学校関係者の皆様とも思わぬ交流を深める機会でもありました。（瀬川記）

鶴二小への出前講座報告

11月27日、鶴二小の3年生を対象に出前講座を行いました。

現在3年生は地域を知る学習を行っていますが、その一環として真光寺川とこの川をきれいにするに取り組んでいる「真光寺川を清流にする会」の活動を子どもたちに学習させたいとのことで、コーディネーターを通じて出前講座の依頼がありました。

当日は午後1時30分から3年生約100人が体育館に集合して、事前に配布したフリガナの多いレジメに沿って、「真光寺川ってどんな川」「真光寺川を清流にする会のこと」「皆さんへのお願い—川をきれいにするために力を貸してください」のお話をしました。その後で、2015年の真光寺川まつりの動画を見てもらい、最後に15分位質問に答えました。

子ども達からはたくさんの質問の手があがりました。質問としては川の生き物のこと、メダカポストのこと、川まつりのことなどがありました。が、「どんな気持ちで会を続けてきましたか」という質問もありました。「私の子供の時の経験から子供たちが遊べる川にしたいと願ってやってきました。また川をきれいになると気持ちがいいんです。これが長続きのもとかも知れません」と答えました。（黒田記）



熱心に質問する子供たち

麻生総合高校 — 真光寺川の清掃とボランティアについて学ぶ！

1月7日、今年も麻生総合高校のボランティア体験学習が行われました。目的は社会交流です。賀來先生と1年生17名が参加し、当会から山本他5名が対応しました。広袴公園で山口さんから「真光寺川と清流にする会のボランティア活動について」山岡さんから「真光寺川の魚について」山本から「真光寺川の鳥」についての説明をし、公園の池を一周、道々吉田さんが植物の説明をしました。その後、ゴミを拾いながら真光寺川遊歩道を矢崎橋まで歩き、新矢崎橋で川に下り川の中の清掃を行いました。



その後、いこい会館に移動し質疑と昼食をとり、13時頃拾ったゴミを持ち学校に向け出発しました。(山本記)

行事案内

行事名	実施場所	実施日			実施時間
		1月	2月	3月	
恩田川清掃	恩田川上流端～旧高瀬橋	--	01	01	10時
真光寺川清掃	真光寺川全域	--	--	11	9時30分
境川清掃	鹿島橋近辺	11	--	08	10時
滝の沢源流公園清掃	公園内	28	25	25	10時
推進連絡会	市民フォーラム4階ボランティア活動室B	28	25	25	14時
T&D	同上	--	25	--	15時以降

エコネット町田通信 第89号 2017年12月24日発行
 発行人 瀬川 晋
 〒194-0031 町田市南大谷 1327-128 Tel/Fax 042-722-2827
 エコネット町田HP：<http://econetmachida.web.fc2.com/>